

安心支えあいネットワークと地域での見守り

■お問い合わせ
 総合福祉センター「ハピネス」内
 保健福祉課 地域包括支援センター
 ☎・☆5-1165（5局のいろいろ）

身の回りでこんなことは
ありませんか？

最近、知人の様子がいつもと違う、出かけて迷子になったりしないかな？火の始末は大丈夫かな？集まりに出てこなくなったけど閉じこもりになっていないのではないかな？ゴミがきちんと分別されてなくステーションに置いていかれているし、スーパーで同じものばかり買っているよね、財布に小銭がたくさんあるようなのに支払いはお札ばかり…
 などなど、そういった気になることがあった場合に相談する相手はいますか？

心配だけど関わったら面倒なことになるし、誰に言ってもいいかわからないし…
 認知症なら早く施設に入れたらいいのに、家族はわかっていないのか、連れて行くべきではないのか、本人がかわいそう…そんな声も聞かれそうです。



安心支えあいネットワーク

何かあれば地域包括支援センターに情報を集約して、さまざまな相談ごとやサービス利用などの支援を、関係者が連携して取り組んでいます。保健・医療・福祉関係機関や民生委員児童委員や公区、町内の情報通報協力機関（*）も見守ってくれています。



心配なことがあれば、どんなことでもかまわないので、誰かに相談して、一人で抱え込まないようにしましょう。

（*情報通報協力機関とは、新聞や郵便がたまっている、昼間なのに電気がついていないなど気になることがあれば、地域包括支援センターに情報通報することを意思表示してくれる店舗や機関等です。外から見えるところにステッカーを張っています。）



人の世話になったり迷惑をかけた
りすることはそんなに悪いこと？

高齢者だけで住んでいる場合などで、見守りや支援などが必要になったら、施設に入ったり、離れた土地に住んでいる家族のところへ行くのが一番いいのでしょうか？確かにぎりぎりでは生活をされていて、次の生活の場を考えなければならぬ人もいます。

地域の中でのちよっとした見守りや支えあいで、生活を継続できる人もいます。お互いに見守りをしていたり、多少迷惑をかけあつて生活していくもの、という文化を下川町に根ざすようにしたいものです。



町では、安心して生活ができるよう、地域包括ケアを進めています。在宅医療・介護連携もその一つですが、地域包括ケアを進めるうえで、地域の支えあいは重要な要素です。

どうやって見守っていけばいいのかな？…そんな時は地域包括支援センターにご相談ください。みんなで知恵を出し合いましょう。

下川町で地域家族を目指しましょう！

